

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7528268号
(P7528268)

(45)発行日 令和6年8月5日(2024.8.5)

(24)登録日 令和6年7月26日(2024.7.26)

(51)国際特許分類	F I		
E 0 5 D 15/58 (2006.01)	E 0 5 D 15/58	A	
E 0 5 D 15/42 (2006.01)	E 0 5 D 15/42		
A 4 7 B 55/00 (2006.01)	A 4 7 B 55/00		

請求項の数 14 (全11頁)

(21)出願番号	特願2022-573787(P2022-573787)	(73)特許権者	520147083
(86)(22)出願日	令和2年7月23日(2020.7.23)		広東欧派克家居智能科技有限公司
(65)公表番号	特表2023-528612(P2023-528612 A)		Guangdong OPK Smart Home Technology Co., Ltd.
(43)公表日	令和5年7月5日(2023.7.5)		中国広東省中山市小欖鎮永寧瑞和路11号
(86)国際出願番号	PCT/CN2020/103729		No. 11, Ruihe Road, Yongning District, Xiaolan Town, Zhongshan City, Guangdong, China
(87)国際公開番号	WO2021/253569	(74)代理人	110002262
(87)国際公開日	令和3年12月23日(2021.12.23)		TRY国際弁理士法人
審査請求日	令和4年11月30日(2022.11.30)	(72)発明者	許 姜▲とく▼
(31)優先権主張番号	202010544080.2		
(32)優先日	令和2年6月15日(2020.6.15)		
(33)優先権主張国・地域又は機関	中国(CN)		

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 同期スライド機構、サイド隠し扉システム及び該サイド隠し扉システムを有するキャビネット体

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

サイド扉の移動をガイドするための同期スライド機構(1)であって、
ガイドレール(12)、第1リンク機構(13)及び第2リンク機構(14)を含み、
前記第1リンク機構(13)は、固定座(134)、第1リンク(131)及び第2リンク(132)を含み、
前記第1リンク(131)及び第2リンク(132)の同一側の一端部は、前記固定座(134)に枢結され、
前記第1リンク(131)及び第2リンク(132)は、前記固定座(134)の水平中軸の両側に位置し、
前記第1リンク(131)及び第2リンク(132)の他端部は、前記ガイドレール(12)に設けられている2つの摺動端(133)であり、
前記ガイドレール(12)が水平軸方向に往復動する場合、2つの前記摺動端(133)は互いに近接または離間し、
前記第2リンク機構(14)は、スライドベース(141)、前記固定座(134)の水平中軸に関して対称に設置される第3リンク(143)及び第4リンク(144)を含み、
前記スライドベース(141)及び前記固定座(134)は、前記ガイドレール(12)の同一側に位置し、
前記第3リンク(143)及び第4リンク(144)の同一側の一端部は、前記スライ

ドベース（１４１）に枢結され、その他端は、前記第１リンク（１３１）、第２リンク（１３２）にそれぞれ枢結され、

横軸（１１）をさらに含み、前記横軸（１１）の一端は、前記固定座（１３４）に固定され、前記スライドベース（１４１）が、前記横軸（１１）に摺動可能に係合することを特徴とする同期スライド機構（１）。

【請求項２】

前記第１リンク（１３１）と第２リンク（１３２）とは、前記固定座（１３４）の水平中軸に関して対称となることを特徴とする請求項１に記載の同期スライド機構（１）。

【請求項３】

前記第１リンク（１３１）及び第２リンク（１３２）は、１つの枢結部材により前記固定座（１３４）に枢結されることを特徴とする請求項２に記載の同期スライド機構（１）。

10

【請求項４】

前記第１リンク（１３１）及び第２リンク（１３２）は、それぞれ前記固定座（１３４）に枢結されることを特徴とする請求項２に記載の同期スライド機構（１）。

【請求項５】

前記横軸（１１）には、シュート（１１１）が設けられ、
前記スライドベース（１４１）には、摺動部材が設けられ、
前記スライドベース（１４１）は、摺動部材により前記横軸（１１）のシュート（１１１）内にスライドすることを特徴とする請求項１に記載の同期スライド機構（１）。

【請求項６】

前記摺動部材は、プーリであることを特徴とする請求項５に記載の同期スライド機構（１）。

20

【請求項７】

前記第３リンク（１４３）及び第４リンク（１４４）には、いずれも折曲部（１４２）が設けられ、

前記折曲部（１４２）により、前記第３リンク（１４３）及び第４リンク（１４４）の各ロッド体において異なる平面に位置する部分が形成されていることを特徴とする請求項６に記載の同期スライド機構（１）。

【請求項８】

前記第３リンク（１４３）及び第４リンク（１４４）の各ロッド体は、前記折曲部（１４２）によりフロントロッド部（１４５）及びバックロッド部（１４６）に分けられ、

30

前記第３リンク（１４３）及び第４リンク（１４４）のフロントロッド部（１４５）は、前記第１リンク（１３１）及び第２リンク（１３２）にそれぞれ枢結され、

前記第３リンク（１４３）及び第４リンク（１４４）のバックロッド部（１４６）は、それぞれ前記スライドベース（１４１）に枢結されることを特徴とする請求項７に記載の同期スライド機構（１）。

【請求項９】

前記フロントロッド部（１４５）と前記バックロッド部（１４６）とは、互いに平行になることを特徴とする請求項８に記載の同期スライド機構（１）。

【請求項１０】

40

サイド隠し扉システムであって、

扉パネル（２１）と、請求項１～９の何れか一項に記載の同期スライド機構（１）とを含み、

前記扉パネル（２１）は、前記ガイドレール（１２）にヒンジ結合されることを特徴とするサイド隠し扉システム。

【請求項１１】

キャビネット体（３）であって、

請求項１０に記載のサイド隠し扉システムを含み、

前記同期スライド機構（１）は、前記キャビネット体（３）の側部に設けられることを特徴とするキャビネット体（３）。

50

【請求項 1 2】

前記キャビネット体 (3) は、サイドパネル (3 1) 及び内蔵パネル (3 2) を含み、前記内蔵パネル (3 2) と、それに近い前記サイドパネル (3 1) との間には、収容室 (3 3) が形成され、

前記同期スライド機構 (1) は、前記収容室 (3 3) 内に位置することを特徴とする請求項 1 1 に記載のキャビネット体 (3)。

【請求項 1 3】

前記同期スライド機構 (1) の固定座 (1 3 4) は、前記内蔵パネル (3 2) に固定されることを特徴とする請求項 1 2 に記載のキャビネット体 (3)。

【請求項 1 4】

前記キャビネット体 (3) 内には、上スライドレール及び下スライドレールが設けられ、前記ガイドレール (1 2) の両端には、摺動部材が設けられ、

前記ガイドレール (1 2) は、両端の摺動部材により前記上スライドレール及び下スライドレールに摺接されることを特徴とする請求項 1 2 または請求項 1 3 に記載のキャビネット体 (3)。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0 0 0 1】**

本発明は、家具業界の扉体伸縮機構に関し、より具体的に、同期スライド機構、サイド隠し扉システム及び該サイド隠し扉システムを有するキャビネット体に関し、該同期スライド機構により、扉体の伸縮、収納、隠しの機能を楽に実現できる。

【背景技術】**【0 0 0 2】**

現在の開き戸や引き戸、折れ戸などは、通常、扉パネルと扉体がヒンジ結合され、扉パネルを開閉する場合、扉パネルは常に扉体の外部に位置するため、大きなスペースが必要になり、生活に多くの不便さをもたらす。

【0 0 0 3】

米国公開公報 U S 5 1 4 9 1 8 0 A には、扉パネルを収納可能な家具が開示され、主に鉸形モジュールにより扉パネルの開き・閉じ機能を実現する。この鉸形モジュールは、ヒンジ結合される 2 つの横ビームを含む。2 つの横ビームの上端は、いずれもキャビティ体の上部に回動可能に固定される。2 つの横ビームの下端は、フレーム内に設けられて回動、上下に移動可能である。扉パネルがキャビティ内に移動する場合、2 つの横ビームの上端は同じ高さに保持され、その下端は上下に移動可能である。

【0 0 0 4】

上記の鉸形モジュールは、扉パネルの開き・閉じを実現できるが、ヒンジ結合される 2 つの横ビームが非同期にスライドするという問題を生じやすく、さらに、横ビームの上端が同一の高さに位置するため、高い取り付け精度が要求される。

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0 0 0 5】**

本発明の目的は、同期スライド機構、サイド隠し扉システム及び該サイド隠し扉システムを有するキャビネット体を提供することであり、該同期スライド機構により、扉体を同期、安定に伸縮、収納、隠すことができ、扉体によるスペースの占有を効果的に低減することができる。

【課題を解決するための手段】**【0 0 0 6】**

一態様では、本発明は、サイド扉の移動をガイドするための同期スライド機構を提供する。前記同期スライド機構は、ガイドレール及び第 1 リンク機構を含む。前記第 1 リンク機構は、前記ガイドレールに設けられる 2 つの摺動端を含む。前記ガイドレールが水平軸方向に往復動する場合、2 つの前記摺動端は互いに近接または離間する。

10

20

30

40

50

【 0 0 0 7 】

好ましくは、前記第 1 リンク機構は、固定座、第 1 リンク及び第 2 リンクを含む。前記第 1 リンク及び第 2 リンクの同一側の一端部は、前記固定座に枢結される。前記第 1 リンク及び第 2 リンクは、前記固定座の水平中軸の両側に位置する。2 つの前記摺動端は、前記第 1 リンク及び第 2 リンク他端部にそれぞれ設けられる。

【 0 0 0 8 】

好ましくは、前記第 1 リンクと前記第 2 リンクとは、前記固定座の水平中軸方向に対して対称となる。

【 0 0 0 9 】

好ましくは、前記第 1 リンク及び前記第 2 リンクは、同一の枢結部材により前記固定座に枢結される。

10

【 0 0 1 0 】

好ましくは、前記第 1 リンク及び前記第 2 リンクは、それぞれ前記固定座に枢結される。

【 0 0 1 1 】

好ましくは、前記同期スライド機構は、第 2 リンク機構をさらに含む。前記第 2 リンク機構は、スライドベース、前記固定座の水平中軸方向に対して対称に設置される第 3 リンク及び第 4 リンクを含む。前記スライドベース及び前記固定座は、前記ガイドレールの同一側に位置する。前記第 3 リンク及び第 4 リンクの同一側の一端部は、前記スライドベースに枢結され、その他端は、前記第 1 リンク、第 2 リンクにそれぞれ枢結される。

20

【 0 0 1 2 】

好ましくは、前記同期スライド機構は、横軸をさらに含む。前記横軸の一端は、前記固定座に固定され、その他端は、前記スライドベースに摺動可能に係合する。

【 0 0 1 3 】

好ましくは、前記横軸には、シュートが設けられる。前記スライドベースには、摺動部材が設けられる。前記スライドベースは、摺動部材により前記横軸のシュート内にスライドする。

【 0 0 1 4 】

好ましくは、前記摺動部材は、プーリである。

【 0 0 1 5 】

好ましくは、前記第 3 リンク及び第 4 リンクには、いずれも折曲部が設けられる。前記折曲部により、前記第 3 リンク及び第 4 リンクの各ロッド体を奥行き方向において異なる平面に位置させる。

30

【 0 0 1 6 】

好ましくは、前記第 3 リンク及び第 4 リンクの各ロッド体は、前記折曲部によりフロントロッド部及びバックロッド部に分けられる。前記第 3 リンク及び第 4 リンクのフロントロッド部は、前記第 1 リンク及び第 2 リンクにそれぞれ枢結される。前記第 3 リンク及び第 4 リンクのバックロッド部は、それぞれ前記スライドベースに枢結される。前記フロントロッド部は、奥行き方向において前記バックロッド部の内側に位置する。

【 0 0 1 7 】

好ましくは、前記フロントロッド部と前記バックロッド部とは、互いに平行になる。

40

【 0 0 1 8 】

他の態様では、本発明は、サイド隠し扉システムを提供し、扉パネルと、上記の同期スライド機構とを含む。前記扉パネルは、前記ガイドレールにヒンジ結合される。

【 0 0 1 9 】

別の態様では、本発明は、キャビネット体を提供し、サイド隠し扉システムを含む。前記同期スライド機構は、前記キャビネット体の側部に設けられる。

【 0 0 2 0 】

好ましくは、前記キャビネット体は、サイドパネルを含む。前記同期スライド機構の固定座は、前記サイドパネルに固定される。前記同期スライド機構は、前記キャビネット体の内部に位置する。

50

【 0 0 2 1 】

好ましくは、前記キャビネット体は、内蔵パネルを含む。前記内蔵パネルと、それに近い前記サイドパネルとの間には、収容室が形成される。前記同期スライド機構は、前記収容室内に位置する。

【 0 0 2 2 】

好ましくは、前記同期スライド機構の固定座は、前記サイドパネルに固定される。

【 0 0 2 3 】

好ましくは、前記同期スライド機構の固定座は、前記内蔵パネルに固定される。

【 0 0 2 4 】

好ましくは、前記キャビネット体内には、上スライドレール及び下スライドレールが設けられる。前記ガイドレールの両端には、摺動部材が設けられる。前記ガイドレールは、両端の摺動部材により前記上スライドレール及び下スライドレールに摺接される。

10

【 0 0 2 5 】

本発明の有益な効果は以下通りである。

第 1 リンク機構と第 2 リンク機構との間に、水平軸方向に対して対称となる安定の四辺形が形成され、第 1 リンク機構の 2 つの摺動端がガイドレール内に上下スライドすると、第 2 リンク機構を回動させて横軸方向に往復動させ、第 1 リンク機構と第 2 リンク機構との組み合わせにより、全体の安定性と同期性を向上させる。本発明は、構造が安定で、同期性能が優れ、隠し扉の家具に適用し、広範囲の市場に寄与する。

【 0 0 2 6 】

20

本発明の実施例における技術案をより明確に説明するために、以下、実施例の説明に必要な図面を簡単に紹介する。もちろん、以下の説明における図面は本発明の一部の実施例に過ぎず、当業者であれば、創造的な労働を必要せず、これらの図面に示す構造から他の図面も取得できる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 2 7 】

【 図 1 】 本発明の実施例 1 に係る同期スライド機構の組み立て説明図である。

【 図 2 】 本発明の実施例 2 に係る同期スライド機構を他の角度から見た場合の構成を示す図である。

【 図 3 】 本発明の実施例 2 に係る同期スライド機構を別の角度から見た場合の構成を示す図である。

30

【 図 4 】 本発明の実施例 2 に係る同期スライド機構の一部を示す図である。

【 図 5 】 本発明の実施例 3 に係るサイド隠し扉システムの構成を示す図である。

【 図 6 】 本発明の実施例 3 に係るサイド隠し扉システムの組み立て説明図である。

【 図 7 】 本発明の実施例 4 に係るキャビネット体の左側面図である。

【 図 8 】 本発明の実施例 4 に係るキャビネット体の右側面図である。

【 図 9 】 本発明の実施例 4 に係るキャビネット体に上下スライドレールが装着された場合の一部を示す図である。

【 図 1 0 】 本発明の実施例 4 に係るキャビネット体の側面断面図である。

【 発明を実施するための形態 】

40

【 0 0 2 8 】

より良い理解と実施のために、本発明の実施例における技術案は、本発明の実施例における図面と併せて以下に明確かつ完全に説明する。

【 0 0 2 9 】

本発明の説明では、「上」、「下」、「前」、「後」、「左」、「右」、「垂直」、「水平」、「頂」、「底」、「内」、「外」などの用語が示す方位または位置関係は、図示された方位または位置関係を基にし、本発明を容易に説明し且つ説明を簡素化するためのものに過ぎず、示した装置または素子は必ずしも特定の方角を有し、特定の方角で構築及び操作されることを指示又は暗示しないため、本発明を限定するものとして理解できない。

【 0 0 3 0 】

50

特に定義されていない限り、本明細書に用いられる全ての技術及び科学用語は本発明の技術分野に属する技術者が一般的に理解しているのと同じ意味である。本明細書において、本発明の明細書で使用される用語は、単に特定の実施例を説明する目的でのみ使用され、本発明を限定するものではない。

【0031】

実施例 1

本発明は、同期スライド機構 1 を開示する。図 1、図 2、図 3 及び図 4 に示すように、同期スライド機構 1 は、ガイドレール 1 2 及び第 1 リンク機構 1 3 を含む。第 1 リンク機構 1 3 は、固定座 1 3 4、固定座 1 3 4 の水平中軸方向に対して対称となる第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 を含む。第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 の同一側の一端部は、固定座 1 3 4 に枢結され、第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 の他端には、前記ガイドレール 1 2 に対応する摺動端 1 3 3 が設けられる。前記ガイドレール 1 2 が水平軸方向に往復動する場合、第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 の摺動端 1 3 3 は互いに近接または離間する。

10

【0032】

好ましくは、第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 は、1 つの枢結部材により前記固定座 1 3 4 に枢結されるか、またはそれぞれ前記固定座 1 3 4 に枢結される。本実施例では、第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 は、それぞれ前記固定座 1 3 4 に枢結される。こうすることで、第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 のガイドレール 1 2 における摺動端 1 3 3 は、ガイドレール 1 2 が固定座 1 3 4 から離れる場合に漸次に近接し、ガイドレール 1 2 が固定座 1 3 4 に近接する場合に漸次に離間する。第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 は、対称に設計されることで、ガイドレール 1 2 における摺動端 1 3 3 の移動をより同期する。

20

【0033】

実施例 2

実施例 1 を基にして、この実施例 2 に係る同期スライド機構 1 は、図 2 に示すように、第 2 リンク機構 1 4 をさらに含む。前記第 2 リンク機構 1 4 は、スライドベース 1 4 1、前記固定座 1 3 4 の水平中軸方向に対して対称に設置される第 3 リンク 1 4 3 及び第 4 リンク 1 4 4 を含む。前記スライドベース 1 4 1 及び前記固定座 1 3 4 は、前記ガイドレール 1 2 の同一側に位置する。前記第 3 リンク 1 4 3 及び第 4 リンク 1 4 4 の同一側の一端部は、前記スライドベース 1 4 1 に枢結される。第 3 リンク 1 4 3 の他端は、前記第 1 リンク 1 3 1 に枢結され、第 4 リンク 1 4 4 の他端は、前記第 2 リンク 1 3 2 に枢結される。

30

【0034】

図 3 及び図 4 に示すように、同期スライド機構 1 には、シュート 1 1 1 付きの横軸 1 1 が水平方向にさらに設けられる。横軸 1 1 の一端は、前記固定座 1 3 4 に固定され、その他端は、前記スライドベース 1 4 1 に摺動可能に係合する。スライドベースには、シュート 1 1 1 に対応する摺動部材が設けられる。好ましくは、本実施例で用いられる摺動部材はプーリである。第 3 リンク 1 4 3 及び第 4 リンク 1 4 4 は、プーリとシュート 1 1 1 との係合により、水平方向に横軸 1 1 に沿ってスムーズに移動可能である。ガイドレール 1 2 の移動時に、第 1 リンク 1 3 1 及び第 2 リンク 1 3 2 の摺動端 1 3 3 は、鉛直方向にガイドレール 1 2 に沿ってスライドし、第 3 リンク 1 4 3 及び第 4 リンク 1 4 4 は、水平方向に横軸 1 1 に沿ってスライドする。第 1 リンク機構 1 3 及び第 2 リンク機構 1 4 で構成される四辺形構造は、機構全体をスムーズ、安定に運転させる。第 1 リンク 1 3 1、第 2 リンク 1 3 2、第 3 リンク 1 4 3 及び第 4 リンク 1 4 4 によるマルチロッドの連動により、機構全体の運転過程をより同期する。

40

【0035】

第 3 リンク 1 4 3 及び第 4 リンク 1 4 4 には、折曲部 1 4 2 が設けられる。第 3 リンク 1 4 3 を例として、第 3 リンク 1 4 3 は、折曲部 1 4 2 により、異なる平面に位置するフロントロッド部 1 4 5 及びバックロッド部 1 4 6 に分けられる。好ましくは、第 3 リンク 1 4 3 のフロントロッド部 1 4 5 とバックロッド部 1 4 6 は互いに平行になるとともに、

50

フロントロッド部 1 4 5 は奥行き方向において前記バックロッド部 1 4 6 の内側に位置する。折曲部 1 4 2 の存在により、第 3 リンク 1 4 3 と第 4 リンク 1 4 4 とを奥行き方向に位置ずれさせる。さらに、第 3 リンク 1 4 3 及び第 4 リンク 1 4 4 の後部がスライドベース 1 4 1 に枢結されるため、スライドベースのプーリと横軸 1 1 のシュート 1 1 とをより係合させ、スライドベース 1 4 1 が横軸 1 1 に沿ってスライドする過程において、奥行き方向のばらつきが生じることなく、スライド過程もより円滑になる。

【 0 0 3 6 】

実施例 3

図 5 及び図 6 に示すように、本発明は、サイド隠し扉システム 2 をさらに開示する。当該サイド隠し扉システム 2 は、扉パネル 2 1 と、実施例 2 に記載の同期スライド機構 1 とを含む。具体的には、ガイドレール 1 2 には、ヒンジ部材が設けられ、扉パネル 2 1 はガイドレール 1 2 にヒンジ結合される。扉パネル 2 1 は、ヒンジ部材によって開閉する。さらに、扉パネル 2 1 がガイドレール 1 2 と平行になる場合、扉パネル 2 1 を押したり引いたりすると、同期スライド機構 1 の伸縮によりパネル 2 1 の伸縮を実現可能である。このような伸縮扉は、多種の用途に適用され、扉体の占用スペースを明らかに減らすことができる。

【 0 0 3 7 】

実施例 4

図 7、図 8、図 9、図 10 に示すように、本発明は、キャビネット体をさらに開示する。当該キャビネット体は、実施例 3 に記載のサイド隠し扉システム 2 を含む。本実施例では、キャビネット体 3 は、内蔵板 3 2 を含む。内蔵板 3 2 と、それに近いサイトパネル 3 1 との間には、収容室 3 3 が形成される。同期スライド機構 1 の固定座 1 3 4 は、内蔵板 3 2 に固定される。収容室 3 3 の上端及び下端には、上スライドレール 3 4 及び下スライドレール 3 5 がそれぞれ設けられる。ガイドレール 1 2 の両端には、上スライドレール 3 4 及び下スライドレール 3 5 に対応する摺動部材が設けられる。ガイドレール 1 2 は、両端の摺動部材により上スライドレール及び下スライドレールに摺接される。扉パネル 2 1 がガイドレール 1 2 と平行になる場合、パネル 2 1 を押したり引いたりすると、扉パネル 2 1 はガイドレール 1 2 の両端の摺動部材により収容室 3 3 の上スライドレール 3 4 及び下スライドレール 3 5 に円滑にスライドするとともに、同期スライド機構 1 によりパネル 2 1 の伸縮を実現する。

【 0 0 3 8 】

本実施例の同期スライド機構は、家庭用家具の分野で幅広く適用することができ、同期スライド機構により、扉体の開きと隠す収納を実現することができ、扉体の開放によるスペースの要求を低減させる。この同期スライド機構は、構造が簡単で、サイド隠し扉が開く過程の運転安定を保証し、扉体の揺れが生じにくい。

【 0 0 3 9 】

本発明の解決策に開示された技術的手段は、上記の実施形態で開示された技術的手段に限定されず、上記の技術的特徴の任意の組み合わせからなる技術的解決策も含む。なお、当業者にとって、本発明の原理から逸脱することなく、幾つかの改良や修飾を行うことができ、これらの改良や修飾も本発明の保護範囲とみなされる。

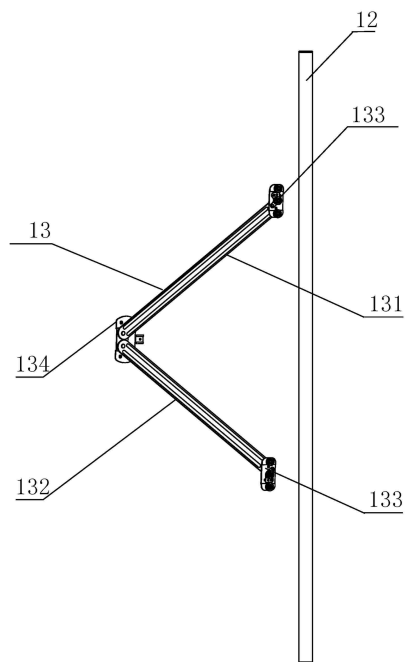
【 0 0 4 0 】

- 1 同期スライド機構
 - 1 1 横軸
 - 1 1 1 シュート
 - 1 2 ガイドレール
 - 1 3 第 1 リンク機構
 - 1 3 1 第 1 リンク
 - 1 3 2 第 2 リンク
 - 1 3 3 摺動端
 - 1 3 4 固定座

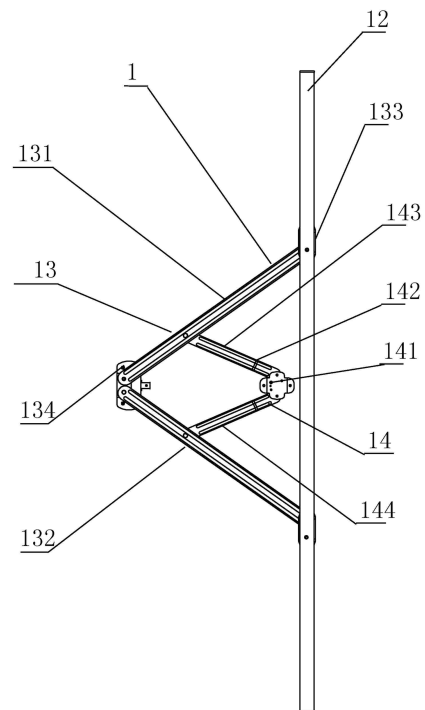
- 1 4 第 2 リンク機構
- 1 4 1 スライドベース
- 1 4 2 折曲部
- 1 4 3 第 3 リンク
- 1 4 4 第 4 リンク
- 1 4 5 フロントロッド部
- 1 4 6 バックロッド部
- 2 サイド隠し扉システム
- 2 1 扉パネル
- 3 キャビネット体
- 3 1 サイドパネル
- 3 2 内蔵板
- 3 3 収容室
- 3 4 上スライドレール
- 3 5 下スライドレール

【図面】

【図 1】



【図 2】



10

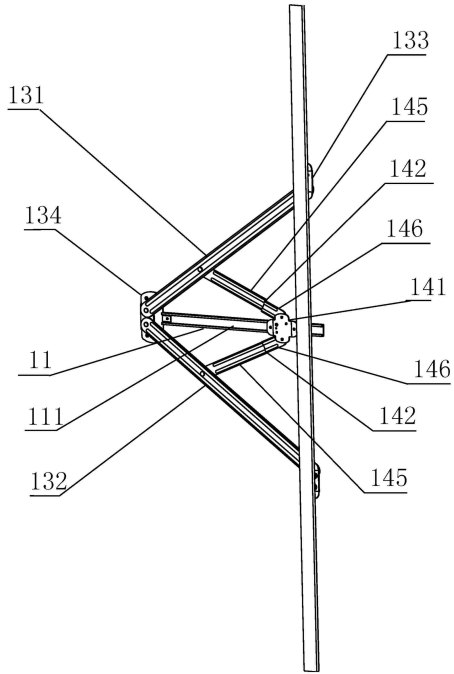
20

30

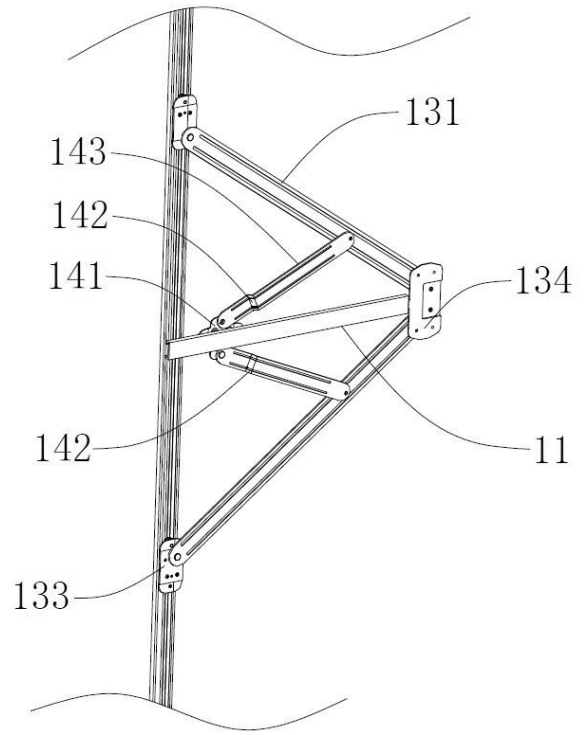
40

50

【図 3】



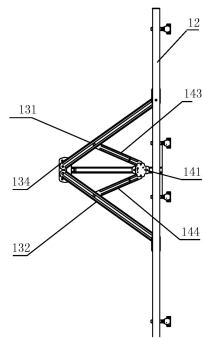
【図 4】



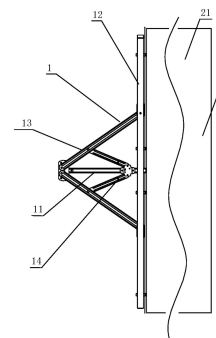
10

20

【図 5】



【図 6】

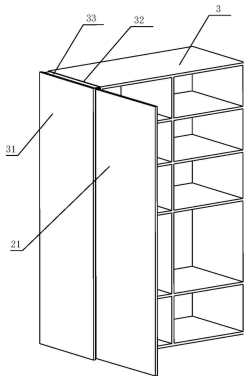


30

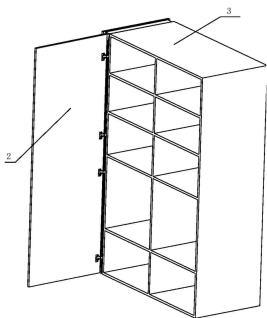
40

50

【 図 7 】

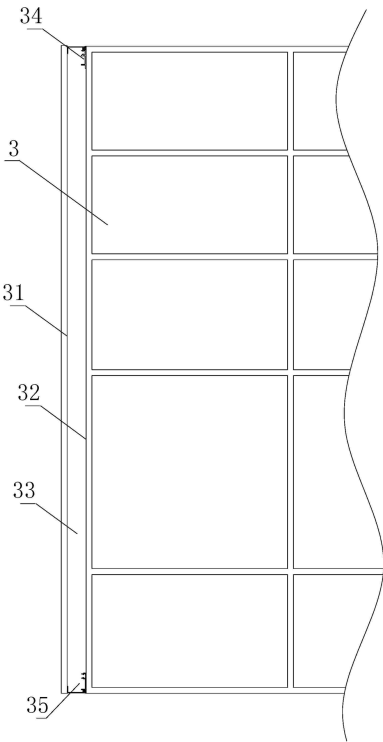


【 図 8 】

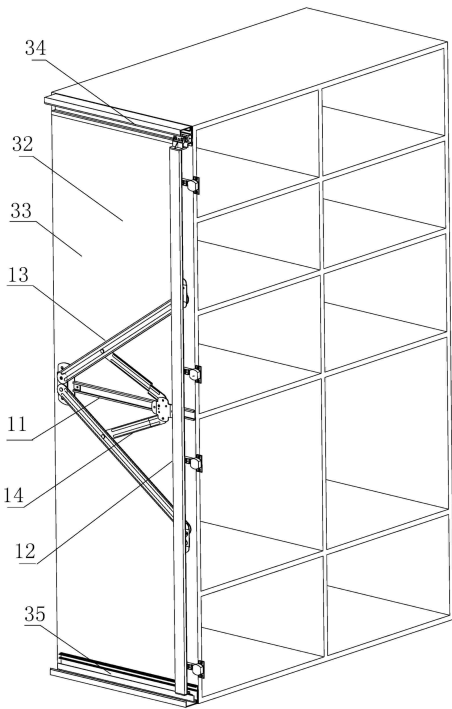


10

【 図 9 】



【 図 10 】



20

30

40

50

フロントページの続き

中国広東省中山市小欖鎮永寧瑞和路 1 1 号

審査官 河本 明彦

- (56)参考文献 実公昭 1 1 - 0 1 4 8 3 5 (J P , Y 1)
実開昭 5 4 - 1 2 3 1 3 1 (J P , U)
実開平 0 2 - 1 0 7 3 8 4 (J P , U)
米国特許出願公開第 2 0 1 3 / 0 2 3 2 8 7 8 (U S , A 1)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
E 0 5 D 1 5 / 0 0 - 1 5 / 5 8
A 4 7 B 5 5 / 0 0 - 5 5 / 0 6